



ガーデニング

「シャコバサボテンの育て方」

ギザギザの葉の先に、あでやかな花をつけるシャコバサボテン。12月頃開花するので、クリスマスカクタスとも言います。一見、葉のように見える部分は、実は葉状茎(葉のような形になった茎)。突起だらけのその形がシャコに似ていることが名前の由来です。



春から秋の手入れで美しく咲く



夕方から翌朝まで段ボール箱などをかぶせて光を遮る



挿し芽用の葉状茎は、2~3芽まとめ、水苔を巻いて輪ゴムで留めておく

摘まずに育てた場合、ここで咲く

花と花の間隔が広がり、同じ花数でも間延びした感じになる



今年の先端



先端から1~2節摘むと、摘んだ部分から新しい葉状茎が2枚出る



分枝が多く、先端部の間隔が狭くなって花が密に咲く

イラスト担当の小阪さんがブログを始めました！ ネコ太とチュウ太に会えるかも。アドレス = <http://hanauta-cho.sblo.jp/>

アクセスお待ちしております！



3月の花情報

長居植物園では、ラッパズイセン、梅、クリスマスローズが見頃を迎えます。

光を遮る短日処理を行います。40日程欠かさず続けると、花芽がつかます。
◆お得に増やす
「花姿を整える」ために摘み取った葉状茎は、捨てずに挿し芽に使いましょう。2節ついた葉状茎を、2、3芽まとめ、発根促進剤(ルーツンなど)を付けて水苔に挿すと、1か月程で根が出ます。これを、定植時に3つ放射状に植え付けると、翌年には一人前の株に育ちます。

【芽摘み】
9月中頃から、葉状茎の先端を充実させて花芽をつけるため、先から出る若い芽を摘みます。
【短日処理】
日が短くなる秋にならないと、つぼみがかかない性質があります。そこで芽摘みと並行して、17時から翌朝8時頃まで、電灯の光が入らない真っ暗な場所に移すか、段ボール箱などをかぶせるかして、

【花姿を整える】
4月中下旬に、葉状茎の先端から1、2節を指で摘み取り、半球形状に整える作業を行います。すると、先端から新しい葉状茎が2枚出て、花をつけます。花と花の間隔が狭まり、美しく、密に咲くようになります。

【肥料の与え方】
成長期の4月中下旬から梅雨前の6月まで、油かす+骨粉の固形肥料を5号鉢(15センチ)で3~5個、鉢の縁に月1回与えます。花芽のつく頃に肥料(特に窒素分)が残ると、花芽が葉になるので要注意。

中南米の高地原産。夏は涼しく、冬は8度以上の室内で育てることが必要です。水やりが多過ぎると根腐れするので、鉢土表面が乾いて2、3日たってから水やりを。美しく咲かせるために、春から秋の手入れが大切です。